

資格対策特別講座

対象	2年次	開講期	前期	区分	選2	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	山本絵美			実務経験	有	職種	放送管理業務				

授業概要

様々な資格対策を行う。

到達目標

陸上特殊無線技士の操作範囲の無線技術、法規を身に着け、無線従事者資格の技術レベルを身につけることを目標とする。

授業方法

陸上特殊無線技士の操作範囲、無線工学について学ぶ。陸上特殊無線技士の操作範囲、無線工学について学ぶ。国家試験の既出問題を中心に解答方法、考え方、技術背景などを学ぶ。また、演習を実施し上級国家試験合格を目指す。

成績評価方法

試験・課題：80%試験と課題を総合的に評価する。小テスト：10%授業内容の理解度を確認するために実施する。レポート：5%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：5%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

履修上の注意

第一級陸上無線技術士、第二級陸上無線技術士の国家試験科目を学習するために必要な知識について学習する。確実な知識により国家試験問題を解答することができるためには、授業中の演習により学習するが、自宅で学習することも必要である。このため必ず授業に出席するは必要があり、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。

教科書教材

第一級陸上無線技術士国家試験問題集、第二級陸上無線技術士国家試験問題集、無線工学A

回数	授業計画
第1回	通信設備技術について理解する
第2回	通信機器に使われる基本回路について理解する
第3回	送信、受信回路について理解する

第4回	LC、水晶発振回路、PLLについて理解する
第5回	アンテナ、伝送路、給電線について理解する
第6回	携帶用無線機、車載器について構造、運用方法を理解する
第7回	無線通信の運用及び法規、規定について理解する
第8回	国家試験問題を中心にまとめる